



令和6年度 武生第六中学校スクールプラン

越前市教育方針 **【人間力を高める教育】**

- 1 生命を尊び生きる喜びをもって、いかなる人とも等しく心をわかち合える人を育てる。
- 2 常に学ぶことと未来を拓く想像力を培い、正しい判断と確かな実践のできる人を育てる。
- 3 互いを敬愛し豊かな情操を養い、ともに働く楽しみと感謝・奉仕の精神にみちた人を育てる。
- 4 健全な食生活をもとに自らの健康と安全を保ち、強くたくましく生きぬく人を育てる。
- 5 郷土の伝統、文化、自然、人間に誇りをもち、広く社会に貢献できる人を育てる。

学校教育目標

確かな学力、豊かな心、健やかな体をそなえた生徒の育成

<研究主題>

自ら学び、自分の良さに気づき、互いに認め合う生徒の育成

【校訓】 自主・鍛錬・実践

【めざす教師像】

- 1 教育のプロとして常に自己研鑽に励み時代に即した教育の実現を目指す教師
- 2 豊かな人間性と人権感覚を持つ教師
- 3 生徒・保護者・地域に信頼される教師
- 4 連携と協働を図る教師

重点目標

A「確かな学力」

- ◎ 自ら学ぶ意欲と態度の育成
- 学習課題への取り組み方の改善
- 読書・NIE活動の推進

B「豊かな心」

- ◎ 自己決定の場を与え、自己存在感を育成し、夢や目標に向かう意欲の向上
- 人権と命を大切にする教育活動の推進

C「健やかな体」

- ◎ 健康教育の充実や安全教育の推進による、自他の命や安全を守る意識の高揚（危機管理意識を高める）
- レジリエンス教育の推進

D「地域と協働・連携した学校づくり」

- ◎ 地域貢献ができる生徒の育成を目指した地域と進める体験活動の推進
- 家庭・地域・学校の連携・協力

具体的な取組

- ① 生徒が自己決定できる場面を多く取り入れ、教科特性に合わせたICTの活用を推進し、生徒自らが考える力を働かせる授業づくりに努める。
<授業が好きか、わかるかのアンケート>
- ② 目的を持ち、主体的に考えながら、学習課題（家庭学習を含む）に取り組む生徒の育成を図る。（自主ノート、デジタルドリル等の工夫と活用）
- ③ 朝読書やデジタル新聞を活用し、本や新聞に親しむ環境作りに努める。

- ① 生徒とともに作る学校行事、生徒会活動や学級活動などの充実を図る。また、夢や目標をもち、生き生きと活動する特色ある学校づくりを推進する。
<学校が楽しいか、みんなで何かをするのは楽しいかのアンケート>
- ② 安心して学校生活を送れるよう道徳教育の充実を図り、人権意識を高める。いじめ・不登校の未然予防、早期解決に努める。（調査・観察・声かけ・六中手帳でのやりとり等）

- ① 健康教育を充実させる。気力・体力の向上、食育、レジリエンス（立ち直り力）等の育成に努める。
- ② 安全教育を推進する。生徒自身が主体的に考え、危険予測・回避能力が身に付く指導を行う。（各種訓練、安全教室、情報モラルなど）
- ③ 生徒が困り感を伝えられる機会を確保し、事案にはチームで対応する。関係機関とも連携し、的確な対応に努める。

- ① 地域の「菊名人」人材を活用し、学校の伝統である大菊栽培を継承し、たけふ菊人形への出品等、地域貢献する。
- ② 全学年でふるさと教育を計画的に実施し、地域での体験活動を推進する。
全学年：王子保地区体育大会ボランティア、王子保地区文化祭協力
3年：大菊栽培
2年：地区の企業訪問
1年：王子保駅イルミネーション製作
- ③ たよりや Home&School、ホームページ等で学校活動を家庭、地域に発信する。

数値目標

- ★ 授業がよくわかる生徒 ⇒ 50%
- ★ 話し合いに参加し、発表したり、質問したりして主体的に学習に取り組んでいるという生徒 ⇒ 80%以上
- ★ 目的意識をもって授業や課題（家庭学習を含む）に取り組んでいるという生徒 ⇒ 80%以上

- ★ 約束を守ることや、自主的に行動することを意識して生活している生徒 ⇒ 80%以上
- ★ 自分や仲間の良さを見つけながら、自分の役割や責任を果たしている生徒 ⇒ 80%以上
- ★ 人が嫌がるようなことをしたり言ったりしないよう気づけて、友達と仲良くしている生徒 ⇒ 100%（いじめ解消100%）

- ★ 体力の向上や心身の健康に気を配り、健康な生活を送るよう努めている生徒 ⇒ 80%以上
- ★ 困ったことや悩みがあるときは相談する相手がいるという生徒 ⇒ 90%以上

- ★ 地域に役立つことを考えることができたと思う生徒 ⇒ 80%以上
- ★ Home&School やホームページで学校の様子がよくわかる保護者 ⇒ 85%
- ★ 学校と連携が取れていると思う保護者 ⇒ 80%以上

業務改善：Home&School や Teams を活用したDXによる業務の効率化。
部活動・会議等の適正な時間設定。校務分掌等の平準化。